

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス きいろいリボン ひかりのひろば		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 7日		令和7年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26 (回答者数)	22
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 7日		令和7年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	平成37年2月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	クッキングへの取り組みによる栄養面での勉強と食育の向上	クッキングで使う材料を予め教え、栄養素とその栄養素が体にとってどのくらい大切かを絵を描いた表を用いて、勉強する機会を設けている	周囲の環境で実現できるかは不明だが、クッキングの材料である野菜等を自分たちで育てて収穫するところまで取り組んでいきたい
2	第1ひろば・第2ひろばと活動ごとに空間及び環境を変えることができる	第2ひろばは粗大運動などの体を動かすことで、体幹を鍛える・体の動かし方を学んでいくという目的をもって活動に望み、第1ひろばではビーズ通しなどの指先を使う微細運動・制作など座って作業をする練習などに取り組んでいる	それぞれのひろばが持つ強みを生かし、活動の幅を広げながら療育の質の向上を目指す
3	SNSを駆使し、保護者と事業所間で相談しやすい環境を作る	その日の活動の様子をその日の内に報告し、写真を送付し実際の様子を目で見てもらおうように工夫し、何か困りごとがあったらLINEにて相談窓口を開設し、相談しやすい環境を作っている	SNSの更新を頻繁にすることで、今現在利用しているご家庭はもちろんのこと、利用を考えているご家庭へも情報が知しやすい環境づくりを行っていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動場所の広さ、天井の高さでの活動制限がある	施設の構造上改善が難しい	施設付近の体育館の利用などで施設内では難しいプログラムに取り組んでいく。また公共施設の利用によって地域の交流も図っていく
2	第1ひろば・第2ひろばとそれぞれの活動が異なり職員が分かれるのでリアルタイムでの子どもの様子を把握することが難しい。	建物の構造上外部に出なければいけないため行き来が難しい	活動終了後の反省会にて全職員での情報交換の機会を増やしていくことで、リアルタイムでは難しいが情報を把握することはできる
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス きいろいリボン ひかりのひろば

公表日 年 月 日

利用児童数 26

回収数

22

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	18	2		2	活動の写真を見ると、とても整理整頓がされている	整理整頓をしながら安全にも配慮させていただきます
	2	18	2		2	安心して通所させられる配置だと思う	ありがたいお言葉です。今後も安心できる場を保っていきます。
	3	18	1		3	活動の写真を見ると、安全だと思う	防げる事故や怪我は細心の注意を払っています
	4	21			1	活動に合わせた空間を作っていると思われる	活動によって教室が別けられる点はリボンとしてメリットになっています
適切な 支援の 提供	5	20	2			子ども一人一人に合わせた対応をしていると思われる	個別支援計画や保護者様のご意向を含めた支援をさせていただいております
	6	21			1		
	7	21	1				
	8	21	1			家族への配慮と支援で助かっている	事業所でできることに最善を尽くして対応させていただいております
	9	22					
	10	20	2			子どもたちが興味を持てるような工夫がされていると思う。	様々な活動プログラムの中で子どもたちの得意を伸ばせるようにしています
	11	4	2	2	14		
保護者 への 説明等	12	22				とても親切の説明されました	
	13	21			1		
	14	10	3	3	6	子どもがよくないことをした際の報告とそれに合った対応をしてくれている	お子さまや保護者様にとって必要な情報や助言などを配慮させていただきながらお話をさせていただいております
	15	22				毎回丁寧に話してくれています	些細な表情の変化などにも気を付けながら保護者の方にお伝えさせていただいております
	16	13	5	1	3		
	17	22					
	18	7	3	5	7	保護者説明会がありました	今後も保護者説明会などを機会を検討していきます
	19	19	3			対応していただいています	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	1		2	わかりやすく伝えていただいています 自己評価もホームページに掲載させていただいております。改善しながらより良い事業所を目指します
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21			1	写真を見ても留意されていると思います
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1		7	感染症対策の説明を事前にプリント・LINEで受けられている 契約時に避難訓練や緊急避難場所などを伝えていますが、わかりやすい書面などもお配りしながら保護者の方にも安心していただけるよう検討していきます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1		9	避難訓練の実施で行われている 利用曜日により実施できていない利用児もいるため、今後は曜日なども考慮しながら全利用児が避難訓練に参加できるよう工夫していきます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1		2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1		2	毎回説明を受けています 怪我無く保護者様のもとにお返しすることが一番だと考えておりますので、安全面に配慮して今後も療育させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	1			安心している ありがたいお言葉ありがとうございます。今後も安心して過ごしていただけるよう配慮してまいります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	1			とても楽しみにしている 楽しみにしてくれる活動を引き続き行いながら、お子さまの成長発達を支援させていただきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	22				感謝している。満足している 日頃の事業所へのご協力やご理解ありがとうございます。今後も満足していただける支援をさせていただきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス きいろいりボン ひかりのひろば		従業員数	10名	回収数	10	公表日	年 月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	3	第1・第2教室で隣同士の建物なので、子どもの状況に合わせて職員で連携し、職員配置を工夫している。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1		細かいところの掃除は時間がある時に行い、整理整頓なども定期的に行っていく。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	体を大きく動かす粗大運動と指先を使う微細運動はそれぞれ別の場所・空間で行っている				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	保護者様の相談や連絡などがあった場合は職員に伝達し、情報の共通理解に繋げている				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	3		連絡や申し送りとは別に、定期的に全職員での共通理解を図る場を設ける必要がある			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	4					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	3		研修会の機会を増やし、全員で療育や発達について勉強していく。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0					
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0					

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	4		事前の打ち合わせが不足のため、その日のチームによる申し送りなどを増やす
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	4	些細な気づき・これから起こるかもしれない予想を必ず報告している	送迎終了後などに全体で反省などを話す機会を設ける
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	個別支援計画に沿ってその日の活動や様子を記録に残し、次の支援計画のための参考情報にもしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	職員全員ではないが、参加できる職員でケース会議を行い、児発管だけの意見で評価をしないようにしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	9	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	職員がすべて判断するのではなく、自分で考える時間を設けながら、選択できる環境を作っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2	必要な際に保育園や幼稚園、学校との連携会議などを行い、保護者支援なども取り組んでいる	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	1		情報共有が少ない学校などもあるため、利用者にとって必要な連携を大事にしてい
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1	保育園や幼稚園などを情報共有をしながら、同じような方向性で利用児の支援を保てるように情報共有している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	3		現在障害福祉サービスへの移行した利用児がいないため前例がない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	5	1年に1回など定期的な面談をしていただきながら助言をいただいている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	7		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	7		特定の職員が参加するよりも、全職員が均等に協議会に参加できるように調整していきたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	支援計画に基づきながら、現在の状況と取り組み等を送迎時や連絡ノートでお伝えしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4		家族が参加できる研修などの情報などは必要な家庭には行っているが、まだ少ないので、情報伝達を増やしていく
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	契約時に必ず説明し、わからないことは聞いてもらうようにしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	支援計画を作成する前に必ず保護者の方に意向を確認しながら、事業所と家族が同じ方向性を持って療育できるようにしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	作成した支援計画を保護者の方に説明をさせていただき、確認を取りサインをいただいている。	就労されている保護者の方も多く、お時間の関係で面談という形ではないことも多い為、できる限り面談でのお話の機会を設けていく
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	情報を得た職員から児発管などに共有し、解決方法を職員で相談しながら助言できるようにしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	9		保護者同士での交流の機会ほとんどなく、兄弟での交流の場も設けていない。今後要望や機会を見つけて取り組むことも検討していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	1	苦情責任者が主に迅速に対応をしながら、全職員にも再発防止や配慮すべきことを周知している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	1	定期的ではないが、インスタグラムなどで活動の様子などを投稿し、保護者の方からも好評をいただいている	投稿頻度が少なくなってしまうこともあり、定期的な投稿を努力する必要がある

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	9		地域住民を招待できる環境を作りながら、地域で子どもを支える取り組みはしていきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	契約時などに心身の状況などは必ず確認し、安全にお子さまを療育できるようにしている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	2	クッキングのたびに使用する材料を明確に保護者の伝え、アレルギーや食べたことのない物について確認を行っている	アレルギー対応の子が今現在いないため今後アレルギー対応が必要な子には医師の指示書を用意していただく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1	ネットでの研修なども取り入れながら安全管理を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	1	報告書なども活用しながら再発防止に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	1	動画視聴による虐待防止の研修を受けている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	2	詳しい状況と身体拘束とはどの程度のことなのかを 利用契約の前に口頭で説明し、理解を得てから個別 支援計画書に記載している	